

今様・草加宿

(会報 第4号)

発行者 「今様・草加宿」市民推進会議

発行日 (2010)平成22年4月15日

ホームページ <http://www.imayo-sokasyuku.com/>

これからの草加を考えるために・・・

新規会員募集中

「草加のまちは宝の山」

獨協大学教授米山淳一先生の講演テーマです。商工会議所と草加市の共催による「そうか産学行事業」が3月13日、獨協大学天野貞裕記念館で行われました。見過ごされがちな資源を活かし、これからの観光をどう発展させていくかについて講演がありました。スライドで成功例を示し、「地域のみんなが、あきらめずに取り組んでいくことが大事」とアドバイスをいただきました。

《まち歩き学習会》

松原と草加宿を歩く



2月7日(日)14:00～

参加会員数 32名

歴史的に価値ある神社仏閣、商家などこれからの観光にどう活かしていくのかそのポイントを探った。「草加宿案内人の会」の丁寧な説明をいただき、会員一人一人がこれからの活動に活かす決意を新たにしました。

400年前の草加人のもてなしの心をしっかりとまとめ上げ具体的な形にしていきたいものです。



《講演会》・演題「まちの宝さがし」をまちづくりに活かす ・講師 品川宿の佐山吉孝氏

・日時 2月7日(日)16:30～18:00 ・場所 埼玉屋旅館

内容 1 変な町、変なところ、変なままでよい。笑える楽しい町。

2 町並み整備。祭りを大事にする。18基の御輿。御輿だこの誇りなどなど・・・

・若い人たちも一緒にプロジェクトを組み、情報発信や交流に努めているという言葉が印象的でした。

《草加の宝探し》

柿木・青柳町探訪

3月27日(土)9:00～15:00 参加会員数 26名

地元豊田昭彦氏、戸部宗三郎氏、現豊田町会長らに女体神社、八坂神社、東漸院などのご案内をいただいた。その後、柿木公民館で昼食をとりながら意見交換会を実施。自然と歴史を活かした秩序あるまちの発展を望んでいることを熱く語ってくれました。

午後は、三覚院の格天井板絵の見学、まるそう一福本店の見学とせんべい焼き体験をしました。

柿木の豊田氏伝説、せんべいの本物にこだわり続ける姿勢に感銘を受けて帰宅しました。



草加のお宝ベスト50を探せ

草加の再発見 → 市民共有の財産として発展させる

平成 21 年度から 22 年度にかけて、市内全域の宝物探しを実施していきます。教育・文化・歴史・産業などの分野で、草加の誇りとなるべくお宝を広く市民に呼びかけ、お宝マップにまとめて参ります。(なぜ、ベスト 50 なのか・・それ程たくさんある。市制 50 周年を考慮)

《新たな名所を作ろう・その①》

草加宿本陣の石碑(石柱)を建てよう



見過ごしている文化財。目に見えなくても、貴重な歴史が隠れている。それを掘り起こし、行政に働きかけ、ふるさと草加の名所を作りましょう。

《提案》

- ◆ 大川本陣 江戸前期 現ソフィアマンション
- ◆ 清水本陣 江戸後期 現堀川産業

この 2 カ所に石碑を建てましょう。

《効果》

- ・新たな名所ができる。
- ・宿場町「草加」の中心地がわかる。
- ・歴史を知り、ふるさとを大切に作る心が育つ。

《手順》①「今様・草加宿」市民推進会議が提案主体(建立委員会)になる。

②行政当局や観光協会等と連携する。

③地権者の理解を得る。

④石碑を建立し、市内外の人たちにその歴史を語り伝える。

《にぎわいもてなし委員会》

「桜を見る会」でおもてなし・・

平成 22 年 3 月 28 日(日) 神明 1 丁目・久野邸とおせん公園にて「桜を見る会」が実施されました。今回は、旧丁「4.5.6 の市」(桜まつり)への協賛事業としての実施でした。新春の 1 月 1 日・2 日(札幌河岸公園)、同 24 日(日)(カーソン広場)に続くもてなし事業でした。



桜湯とお饅頭をセットにしてふるまい大変に喜んでいただきました。150 個用意した草加宿饅頭、200 個用意した小麦饅頭は午後 2 時 30 分には完売しました。子供たちにとって、桜湯はとてもめずらしかったようです。

今回、資料館から借用した銭箱(江戸時代の物)を置き、お気持ちをちょうだいしました。久野邸と銭箱の取り合わせが中々似合っていました。



《お琴の調べでおもてなし》

長谷川先生と高梨様のお二人に、おせん公園にてお琴の生演奏をしていただきました。「さくら」などの伝統的な日本の歌を奏でいただき「桜を見る会」をもり立てていただきました。

新規会員入会申込先

〒340-0022 草加市瀬崎町 1310-10

「今様・草加宿」市民推進会議事務局長

谷古宇 孝 宛

電話 048-927-6441